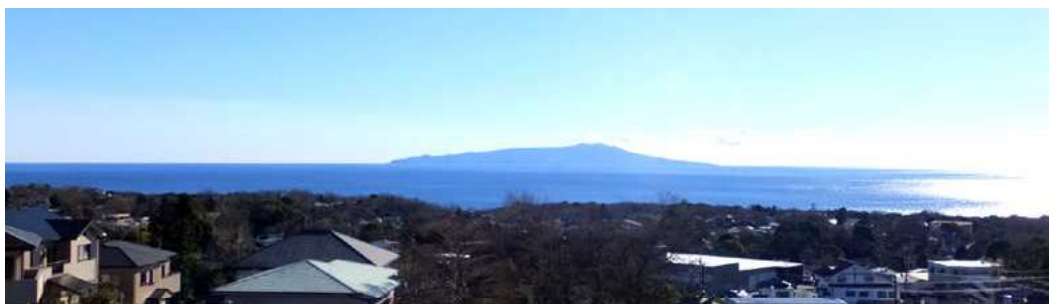


伊豆高原「アンダリゾート」ホテル&スパ 旅行記：太田一穂



平成29年1月17日(火)朝：快晴。目が覚めてすぐ、部屋のカーテンを開けると、まぶしい朝日が差し込み、30km先にある伊豆の大島が、海の向こうやや右手にくっきりと見えた。1時間早ければ、海の彼方から素晴らしいサンライズが楽しめた筈だ！！



敷地内にある屋上展望台に上ると、360度ぐるっと見渡すことが出来る。背後には野焼きされた甘食型はげ山大室山が丘の向こうにそびえて、その眺めに癒やされた。前夜真っ暗な中を登って見たら、星空が美しく輝き、もし天体好きなら思い出の場所になった筈だ！！

実は、なぜここに来たのか？その理由は、昨年3ヶ月前の10月7日(金)に参加したJVCシニアクラブの第15回総会(横浜ハマボール7階：パセラリゾーツ横浜店)にて、福引き後のジャンケンで勝ち取った宿泊招待券にある！！こんなラッキーなチャンスはもう二度と来ないだろう！

通常なら、2名一室の宿泊費が ¥28,800×2 の所、この招待券使用の場合は1名¥6,000の自己負担で、同じ飲食サービスが受けられる。今回は家内と2名分¥12,000を支払った。また、全ての交通手段に急行券のいらぬ快速か鈍行を利用し、片道¥2,000(半額以下)に抑えた。

前日am9:30相模原の自宅を出発、小田急線で小田原下車。歩きで小田原城の裏手にある(株)ういろう本店に寄り、数百年の歴史ある仁丹状の丸薬・懐中必携之靈薬「透頂香トウチンコウ」を購入した。約150粒入って¥1,000もする大変貴重な薬だ。そして小田原駅前のレストランでランチを食べ、JR東海道線熱海駅でJR伊東線に乗り換え、pm3時半頃伊豆高原駅に着いた。駅前にホテルの送迎バスが都合良く停まっていたので、乗せて頂き、10分で宿に着いた。

宿は、海を望む東側斜面に建てられた、地下1階・地上2階の横長スタイルのリゾートホテルで、二階中央通路の海側と山側に和洋両方の良さを取り入れた客室が並んでいる。

私と家内が泊まった部屋は、更に子供3人が泊まれるロフト付きで、家族連れでもOKだ！玄関を入った途端、アジア系のお香が微かに香り、何処を向いても「バリ島」の雰囲気を感じさせた。ヤングのカップルが多く、子供連れもいて、シルバーのカップルも数組はいた。

最初はやや拒絶反応を感じたが、全スタッフの「おもてなし」対応が素晴らしく、終始気分良く、帰る迄にこのイメージはひっくり返った。ホテルの名前「アンダ＝帰るところ」という意味あいだけに、一度利用するとまた行きたくなること請けあいだ。泊まりのあらゆるプログラム(食事タイム・カラオケタイム・バータイム)に、リゾートホテル&スパとして、従来の温泉ホテルにはな

い、ひと味違ったエンターテインメント・コラボの世界が演出されている。死ぬまでに一度は、シルバー世代も冥土の土産に、こうした演出に身を任せてみるのも楽しいのではないかな。

チェックインから寝て起きてチェックアウトまで、「癒やしの遊び」が切れ目なく繋がっている。ロビーの熱い珈琲・お茶・アイスキャンディ全てタダ！部屋の冷蔵庫には二人分の無料缶ビール・缶烏龍茶・2Lミネラル水が冷えている。

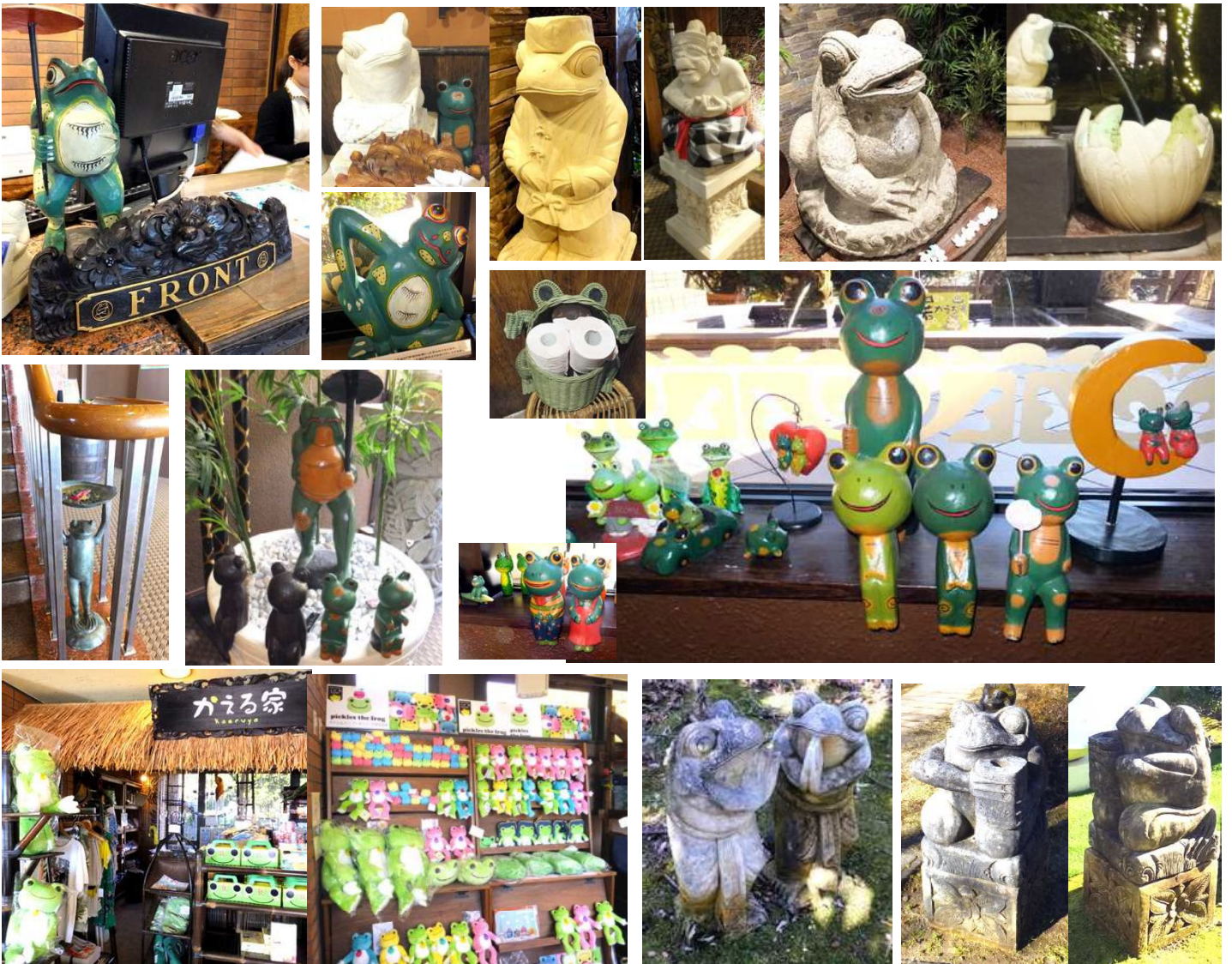
カラオケルーム・ビリヤード・卓球・ダーツ・沢山の家族風呂等の貸し出し全て無料。



館内にある「若ガエル足湯」では、靴下を脱ぎ、足を湯につけると、数cm位の鯉科のガラ・ルファフィッシュ（西アジア河川域）が20匹程、足のかかるとに群がって来て、足の角質をついばんでくれる。家内の70代の足表面がつるつるに若がえった。ややくすぐったい感じもある。



館内のフロントに始まり、廊下や敷地内の散歩道等、何処を歩いてもカエルのモニュメントに行き当たる。石造りからプラスチック製まで、大小様々300体は有りそうだ。よくぞ集めたものだ！！従業員にも全員、愛嬌のあるカエルの名前がついている。バリ島では「カエルは神様の使者！」。毎日正午近くに、館内の幸せのチャペルでは、カエルと恋人・家族との記念写真を撮影し、無料で渡してくれる。



本館や道路を渡ったロンボック館にも、露天を含め、貸し切り風呂は10個以上有り、無料予約出来る。予約して覗きに行ったが、若いカップルには抜群の施設だ！pm5:30から、一人入るのも寂しいので、今回は滝の流れ落ちる温泉大浴場(男女各1)を利用した。泉質は「ナトリウム塩化物硫酸塩泉」。掛け流しではないが、肌に柔らかな温泉だ！

pm7:20~8:50 「食事タイム」。伊東港水揚げの魚と伊豆産野菜を使った創作料理フルコース(バリ風?)。食事は全て美味しい・抜群!! 飲物無料!

①オードブル・前菜盛り合わせ ②刺身・「舟盛り」 ③大根と水菜のサラダ ④伊豆産ルビートマトのスープ ⑤静岡産もち豚のロースト中、ドラが鳴り炎が上がった!! ⑥デザート・柚子のカエル形パウンドケーキやヘーゼルナッツのジェラート等



pm9:00~9:50 「カラオケタイム」。2~14名のカラオケルームが8部屋もある。室料も飲物も無料! 小さな部屋を予約し、家内と久しぶりのカラオケを楽しんだ。歌い放題! 飲み放題! カラオケマシンの音質は抜群だったが、規定の50分では時間不足で、欲求不満が残った。



pm9:50~11:00 「バータイム」。つまみやカクテル全て無料! タコ焼き、チーズフォンデュやマシマロ・バナナのチョコレートフォンデュ等の手造りコーナーもあり、楽しめた。今回はカクテルを注文。「サングリア」と「マンゴーミルク」で乾杯した。

こうして、あっと言う間に寝る時間が来た。

翌日、朝食後、のんびりと宿のまわりを散策。

am11:00頃チェックアウトし、「アンダ別邸:伊豆一碧湖」に向かうホテルの送迎バスに乗せて頂き、大室山を左に見ながら30分程ドライブし、一碧湖の湖畔で下ろして頂いた。そこには林の中にぽっかり静かにたたずむ一碧湖があり、歩きで一周すると1時間はかかりそうな大きさだ。



バス停近くの岸边には綺麗な彩りの鴨が約30羽、のんびりと浮かんでいた。3軒程お茶屋もあり、店先にあった一袋100円の鯉の餌を買い、投げてやると嬉しそうに寄ってきた。若いカラスも数羽寄ってきて、空中でキャッチしたり、鴨の群れに飛び込んで、水面に浮かんだ餌を横取りしたり、ずる賢い目付きで飛び回った。湖畔には綺麗なトイレがあり、男性用には♂「おしべ」、女性用には♀「めしべ」の表示があり、印象に残った。



pm0:24一碧湖からバスにのり、30分程でJR伊東駅着。駅前で茹でたての立ち食いそばを食べ、pm1:45JR伊東駅を出発。熱海、横浜を経由して最寄りの横浜線JR古淵駅着。pm4には帰宅できた。因みに、初日は10504歩(約7.1km)。二日目は6954歩(約4.7km)歩いた。

以上、心身共に癒やされたことを報告させていただきます。

